

第4章

バリアフリー化の 現状と課題

- 4-1 糸魚川駅周辺地区
- 4-2 能生駅北側周辺地区
- 4-3 青海駅周辺地区
- 4-4 青海(須沢)周辺地区
- 4-5 押上新駅周辺地区
- 4-6 まち歩き点検の結果を踏まえた今後の課題

第4章 バリアフリー化の現状と課題

バリアフリーに関する課題を把握することを目的に、対象エリアの一部を実際に歩いて点検する「まち歩き点検調査」を実施しました。

糸魚川駅周辺地区については、糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会の構成組織の代表者にご参加いただいたうえで、まち歩き点検と意見交換を実施しました。

その他の4地区は、糸魚川市事務局によるまち歩き点検を実施しました。

	開催日時	参加者
1 糸魚川駅周辺地区	令和2年8月6日(木) 9:30~12:00	・糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会
2 能生駅北側周辺地区	令和2年8月28日(金) 9:30~10:30	・事務局
3 青海駅周辺地区	令和2年8月31日(月) 13:30~14:30	・事務局
4 青海(須沢)周辺地区	令和2年8月31日(月) 13:30~14:30	・事務局
5 押上新駅周辺地区	令和2年8月26日(水) 15:30~16:30	・事務局

■まち歩き点検調査の様子(糸魚川駅周辺地区)



4-1 糸魚川駅周辺地区

4-1-1 駅北コース



※) 事前状況調査結果を参考に、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（郵便局、金融機関、医療機関等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■指摘事項

①駅前広場（糸魚川駅日本海口）

指摘箇所	指摘事項	番号
案内看板	<ul style="list-style-type: none"> 出入口の案内看板が日本海側の眺望を妨げている。 案内看板を見る人が歩道上に滞留することで、通行の妨げになることが懸念される。 	1
バス車両	<ul style="list-style-type: none"> 乗降しやすいバスとしてノンステップバスが考えられるが、雪国では積雪の問題で導入が難しい面がある。 運行に問題ないような除雪ができれば導入の可能性も考えられる。 	2

※番号1、2に該当する写真なし。

②道路（糸魚川駅～糸魚川郵便局～駅前通り～本町通り～広小路通り～中央通り）

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・側溝用の蓋、グレーチング蓋の隙間が大きいので、白杖が引っかかって危険。	1
	・マンホールの蓋による段差が生じている。	2
	・交差点の路肩部分に段差が発生している。雨天時は水が溜まる。	3
	・路肩の白線が消えかかっている場所は、路肩の境界が認識しづらく危ない。白線を引くことは、人と自動車の安全確保上、非常に重要。	4
郵便局 アプローチ	・スロープの出入口部分（車道路肩）に案内の点字ブロックがない。	5
	・スロープの点字ブロックが交差部のみ（全部あると望ましい）。	6
	・アプローチの階段の踏面が傾斜して危険。	7
バス停	・高速バスのバス停に庇があるとよい。	8
点字ブロック	・駅前広場からヒスイ王国館前のバス停までの間に点字ブロックの案内がない（※現在整備に向けて検討中）。	9
	・景観に配慮した濃グレーの点字ブロックは輝度が低く、見分けづらい。	10
	・点字ブロックが劣化し、すり減っている。	11
その他	・工事中の三角コーンが、点字ブロック上に置かれている。	12

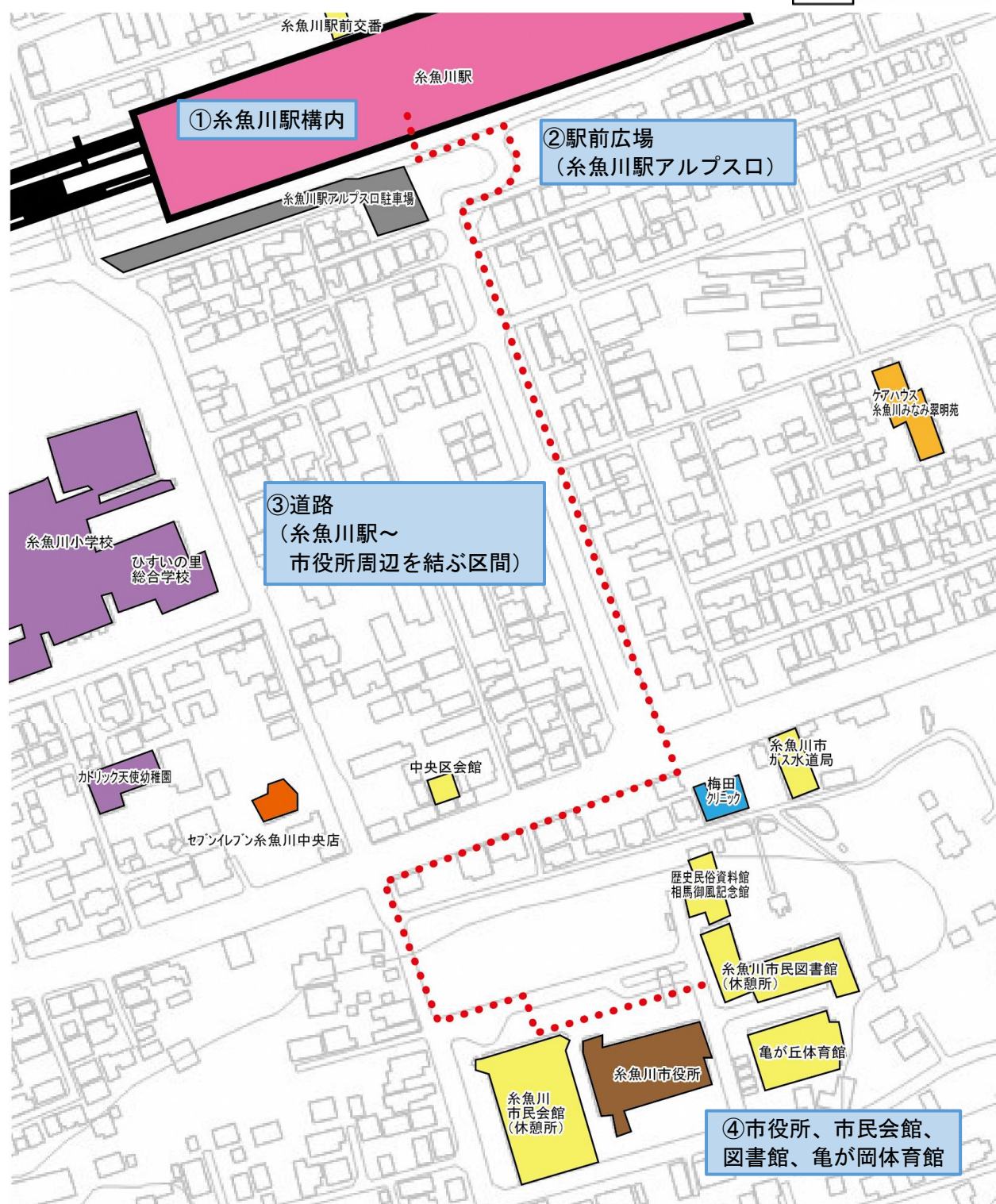
■指摘箇所の状況



※番号4に該当する写真なし。

4-1-2 駅南コース

点検ルート



※) 観光やビジネス等で、初めて当市に来られた高齢者・障がい者の方の動線を想定し、駅舎からアルプスバス停、市役所、市民会館に至るルートを事務局で決定（来街者動線）。

■指摘事項

①糸魚川駅構内

指摘箇所	指摘事項	番号
点字ブロック	・改札口までの点字ブロック上に障害物（ベルトパーテーションポール）があり不適切。	1
	・杖を振って歩くため、点字ブロックの左右 50 センチ程度は空けてほしい。	2
	・観光案内所入口前の点字ブロック上にマットが敷かれており、障害物となっている。	3
トイレ	・男女トイレの前まではあるが、多目的トイレ前までの点字ブロックがない。	4
	・点字ブロックがトイレの入口までなので、トイレの中まで続いているとよい。もしくは点字ブロックが無くなる場所から、伝い歩きできるとよい。	5
	・男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレの音声案内があるとよい。	6
	・多目的トイレの開閉ボタンが、どちらが“開”でどちらが“閉”かわからないので、点字があるとよい。多目的トイレ入口扉にも多目的トイレであるという点字があるとよい。	7
観光案内所	・入ってからどこにいて聞けばいいのかわからない。	8
	・列車時刻の遅れなどのアナウンスがあるが、聴覚障害の方はわからない。文字電光掲示板があるとよい。	9
	・トイレのサインがあるが、盘面が小さく位置が高すぎる。大きい文字で、目の高さにするべき。	10
階段	・階段手摺（波型）の形状が使いづらいと感じる。	11

■指摘箇所の状況



※番号 8、9 に該当する写真なし。

②駅前広場（糸魚川駅アルプス口）

指摘箇所	指摘事項	番号
タクシー乗り場	・以前、バス乗り場だったところそのままタクシー乗り場になっているため、誘導点字ブロックが3箇所になっている。2箇所をなくし、1箇所にするべき。	1

■指摘箇所の状況



1) タクシー乗り場

③道路（糸魚川駅～市役所周辺を結ぶ区間）

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・歩道幅が広いと、自転車と歩行者の接触事故が懸念される。ブルーライン等での区分が必要ではないか。	1
	・中央大通り線を横断する時の青点灯時間が短く、障がい者や高齢者の方は渡りきれないのではないか。	2
	・中央大通り線から市役所に向かう経路上、車道を横断するところの点字ブロックがずれている。また、車止めのポールが誘導の妨げとなるのではないかと感じる。	3
点字ブロック	・道路の誘導ブロックからバス停までの誘導ブロックがない。	4
	・警告ブロックの突起部分がつぶれている。	5
	・点字ブロックに雑草が繁茂してきている。	6

■指摘箇所の状況



※番号1、2に該当する写真なし。

④市役所、市民会館、図書館、亀が岡体育館

指摘箇所	指摘事項	番号
入口	・（市の施設には）障がい者の方が車を停車する場所に屋根があると、雨天時や降雪時に本人も介助者にとっても乗り降りがしやすい。	1
	・図書館入口の自動ドアが、3枚扉になっており、開閉口と点字ブロックがあっておらず、扉が通行の妨げになってしまう。	2
点字ブロック	・道路～市民会館～市役所入口まで、道路～図書館入口、道路～亀が岡体育館までの誘導ブロック、警告ブロックともに老朽化で凹凸がすり減っており、周辺の歩道舗装がレンガ面で凹凸があるため、判別がしにくくなっている。	3
	・点字ブロックの色が黒ずんでしまい、色弱の人には判別しにくくなっている。	4

■指摘箇所の状況

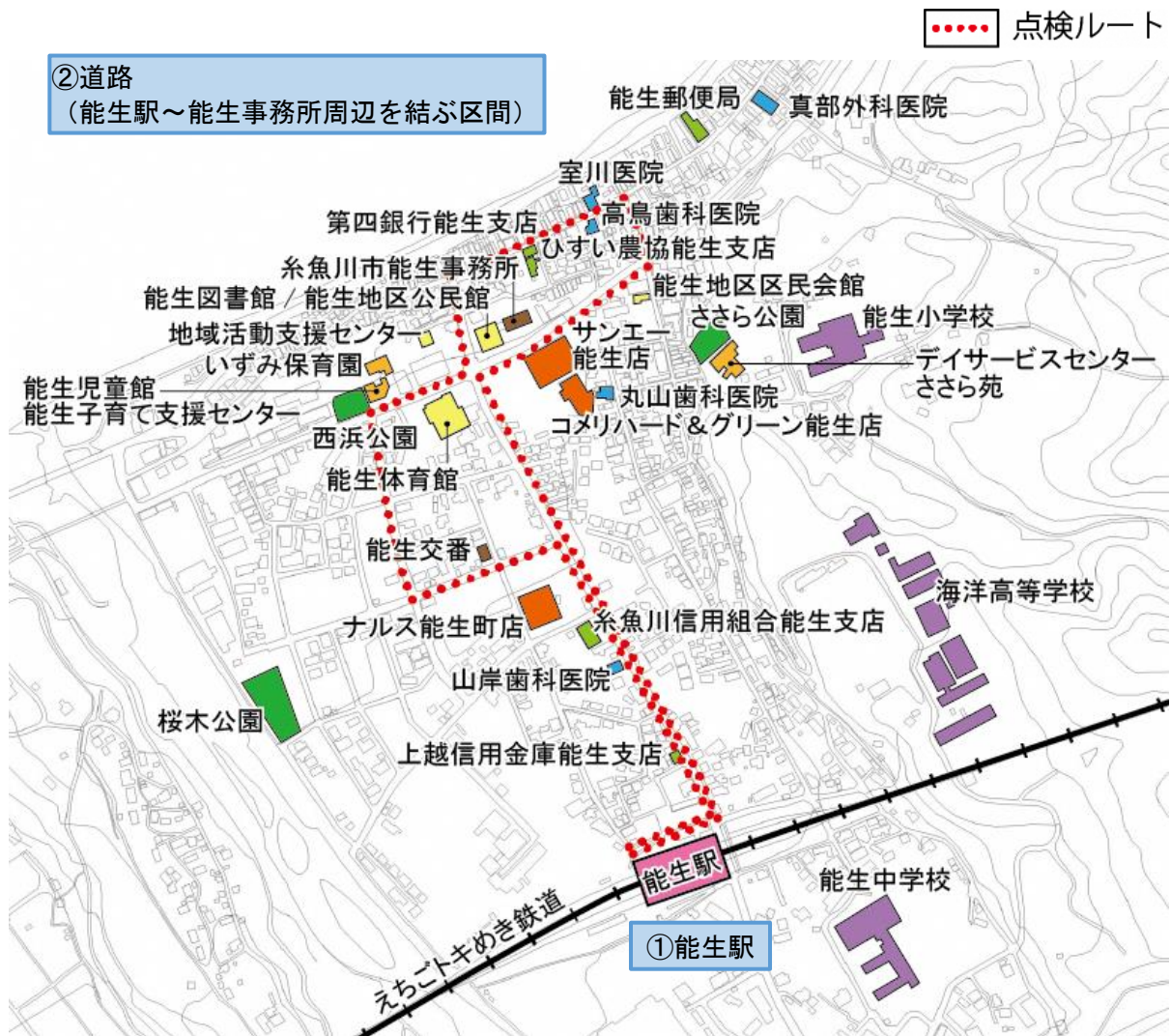


※番号1に該当する写真なし。

(3) 其他のご意見

- ・公共事業等を考える場合、障がい者抜きで決めないでほしい。健常者には分からない点があるところとある。
- ・押上新駅の工事が始まっているが、そういった工事の前にも障がい者の意見を聞く場を設けてほしい。
- ・えちごトキめき鉄道のホームの案内放送について「点字ブロックの内側まで」という放送に変更していただきたい。
- ・点字ブロックが設置されていても、老朽化が進むと無意味なものになってしまうため、定期的なメンテナンスが必要。
- ・レンタサイクルの利用を促進しており、今後自転車利用についての検討も必要。
- ・点字ブロック上に障害物を置かないなど、マナーの徹底で解決できることも多い。
- ・心のバリアフリーの取組みを進める必要がある。
- ・地元自治会が、自分たちの地域のパトロールを年に1回程度行い、バリアフリーに関する点検を行うといった取組みをしていくことも検討すべきだと思う。

4-2 能生駅北側周辺地区



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■指摘事項

①能生駅

確認箇所	確認事項	番号
駅舎構内	・ 正面出入口は、両側に手すりが設置されているが、片側は、防風扉があり使用できない状況。スロープはない。	1
	・ 構内は、点字ブロックのほか、エレベーターもなく、障がい者等の利用に対応した整備は遅れている印象。	2
	・ 券売機については、車いすでも使いやすい高さであり、点字表示もされている。	3
トイレ	・ 多目的トイレはもとより、男女ともに洋式トイレの設置がない。	4
	・ トイレの表示は大きくて見やすいが、トイレまでの通路に自動販売機が置かれているため、通行幅がせまくなっている。	5
駅前広場	・ 駅周辺には、車いすマークの駐車場の設置がない。	6

■確認箇所の状況



※番号6に該当する写真なし。

②道路（能生駅～能生事務所周辺を結ぶ区間）

確認箇所	確認事項	番号
歩道等	・能生駅から北側に向かう県道は、歩道幅は狭く点字ブロックもないが、段差はほぼない。	1
	・能生生涯学習センター南側の交差点には、点字ブロックのほか、ポール（車が歩道に突入してこないため）も設置されている。	2
	・能生事務所前を東西に走る県道は、歩道に点字ブロックはないが、白線が2本引かれている。	3
	・商店街は、歩道幅が狭く、車いす等の通行は困難。	4
点字ブロック	・能生体育館は、新しい施設のためスロープや点字ブロックは設置されているが、その割に点字ブロックの劣化が激しい。	5
	・能生事務所、能生生涯学習センター出入口には、点字ブロックや手すり、スロープの設置あり。	6

■確認箇所の状況



4-3 青海駅周辺地区



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■指摘事項

①青海駅

確認箇所	確認事項	番号
駅舎構内	<ul style="list-style-type: none"> 改札までへの階段には、両側に手すりが設置されており、点字表示もある（北側階段のみ）。エレベーターはない。 階段の踏面が端に向かって傾いている。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 構内は、点字ブロックや手すりはなく、障がい者等の利用に対応した整備は遅れている印象。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> 券売機については、車いすでも使いやすい高さであり、点字表示もされている。無人駅のため、不明な点があれば、インターホンでつながるようになっているが、設置場所がわかりにくい。 	3
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 多目的トイレはもとより、男女ともに洋式トイレの設置がない。 	4
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺には、車いすマークの駐車場の設置がない。 	5

■確認箇所の状況



※番号5に該当する写真なし。

②道路（青海事務所～青海駅～青海総合文化会館を結ぶ区間）

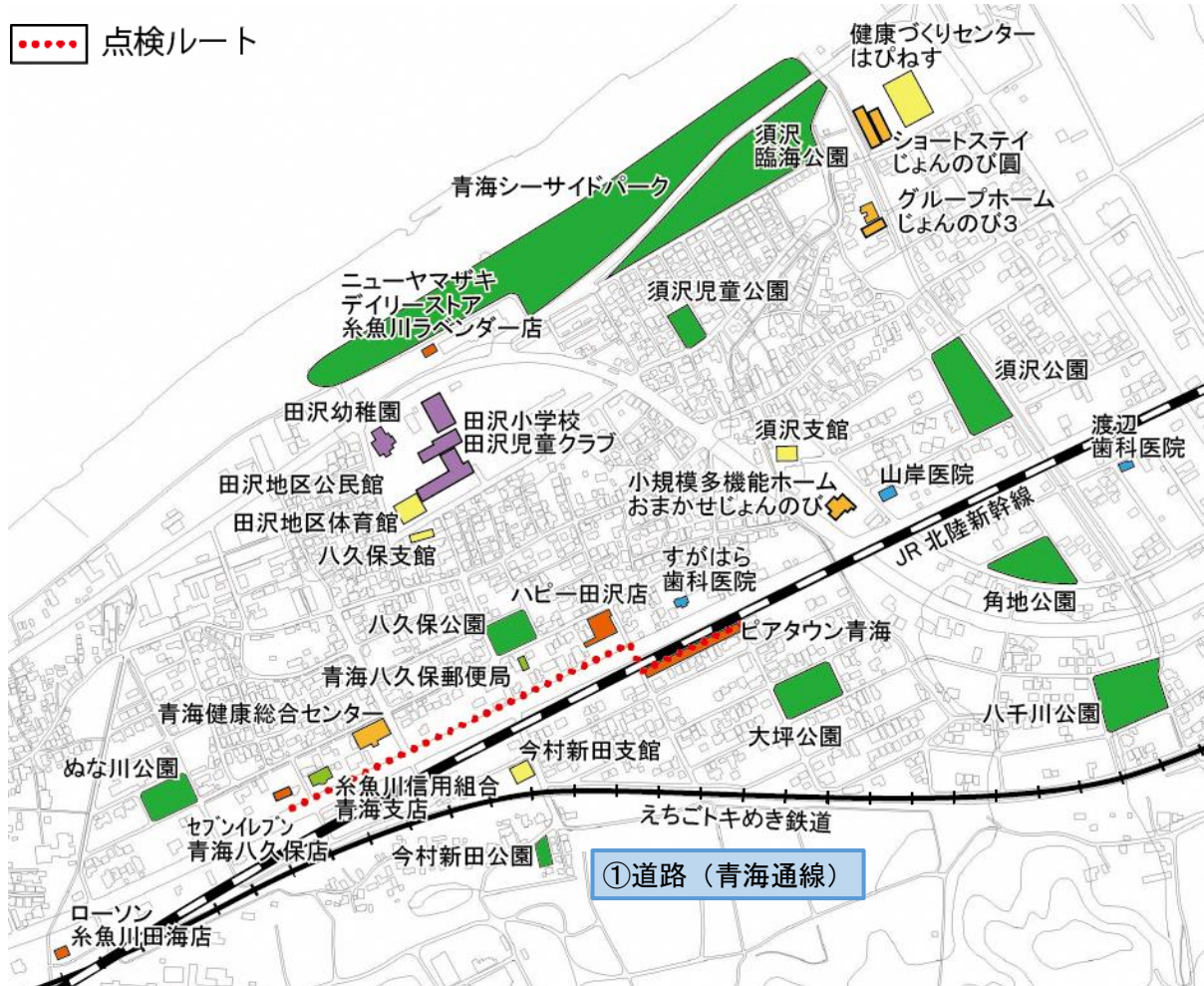
確認箇所	確認事項	番号
歩道等	・青海駅北側の交差点は、点字ブロックが設置されており、状態も非常によい。	1
	・上記交差点近くの側溝蓋は旧式で穴が大きく、車いすの前輪がはまってしまう。	2
点字ブロック	・青海生涯学習センターはスロープや点字ブロックが設置されているが、車いすマークの駐車場の長さが少し不足している。	3
	・青海総合文化会館（きらら）の出入口には、点字ブロックが設置されているが、マット等が敷かれ障害となっている。	4
	・青海総合文化会館（きらら）駐車場の車いすマークは現在1区画。健全者と思われる方が停められていることもあり、他施設と比べても、もう1～2区画をあってもよいのではないかと。	5

■確認箇所の状況

			
1) 交差点点字ブロック	2) 交差点近くの側溝穴	3) 生涯学習センター	4) 青海総合文化会館 正面出入口
			
5) きらら青海駐停車			

4-4 青海(須沢)周辺地区

点検ルート



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■ 指摘事項

① 道路（青海通線）

確認箇所	確認事項	番号
歩道等	・ 青海通線は、全体的に白線が消えかかっている。	1
	・ 側溝の劣化により、ハッピー田沢店出入口と市道の境目が大きな段差となり、雨天時は水が溜まる。	2
点字ブロック	・ ピアタウンに設置されている点字ブロックに草が繁茂している。	3

■ 確認箇所の状況



1) 歩道白線

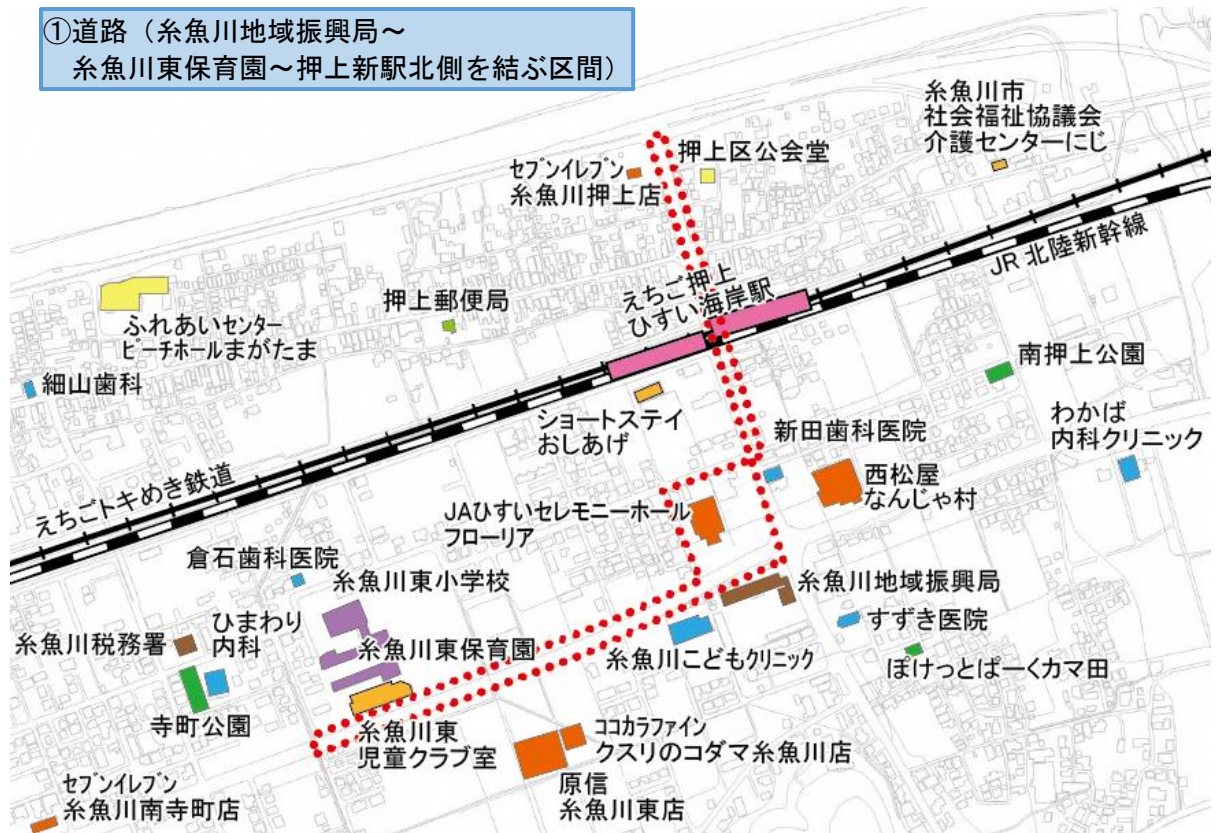
2) スーパーと市道の境目

3) 点字ブロック

4-5 押上新駅周辺地区

点検ルート

①道路（糸魚川地域振興局～
糸魚川東保育園～押上新駅北側を結ぶ区間）



※) 事前状況調査結果を参考に、基本的に立地適正化計画における居住誘導区域のエリア内で、駅及び高齢者・障がい者の方の利用頻度の高い生活関連施設（金融機関、医療機関、商業施設等）を中心としてルートを決定（市内生活者動線）。

■指摘事項

①道路（糸魚川地域振興局～糸魚川東保育園～押上新駅北側を結ぶ区間）

確認箇所	確認事項	番号
歩道等	・市道中央大通り線の点字ブロックは、全体的に劣化が激しい。	1
	・押上新駅の南北に通る県道は、点字ブロックはないが、歩道幅はある程度確保されている。	2
	・このエリアの交差点には、音響信号機の設置がない。	3
点字ブロック	・ビーチホールまがたま駐車場の点字ブロックは、場内に設置されている横断歩道により連続性が遮断されている。	4

■確認箇所の状況



4-6 まち歩き点検の結果を踏まえた今後の課題

まち歩き点検の結果、部分改良（点字ブロックの連続性確保、沿道施設へのアプローチ部分の段差解消など）が必要な箇所が見られるものの、全体としては一定の整備水準が概ね確保されており、歩道新設などの大規模な新規ハード事業に対するご意見は少ない結果でした。

一方で、点字ブロックや白線などの点検・早期修繕・安全管理などに対するご意見が多く聞かれるなど、一定の整備水準を維持するための維持管理の徹底が課題となっています。

また、糸魚川駅は一定の整備が完了していますが、能生・青海駅についてはバリアフリー化が遅れている印象があります。また、バス車両やバス停へのご意見も聞かれ、官民連携、特に交通事業者の協力は欠かせない状況です。

さらに、移動等に関する事業を実施する際は、計画段階から障がい者の意見反映を行うことや、道路空間の利用マナーの問題、心のバリアフリーの問題などに関するご意見が多く聞かれるなど、ソフト面の取組強化が課題となっています。

まち歩き点検でのご指摘の一例（ハード面）

- 点字ブロックや白線等の劣化により認識しにくいところがある。



- 沿道施設の出入り口等、一部で障害となる段差や傾斜が見られる。



- 点字ブロックが途切れている等、案内が分かりにくいところがある。



まち歩き点検でのご指摘の一例（ソフト面）

- 公共事業等を実施する際は、計画段階から障がい者の意見を聞く場を設けてほしい。
- 車いすスペースの駐車場や点字ブロックの設置理由等、市民への周知が必要。

今後の課題

維持管理

- バリアフリー化が完了している区間における点検・早期修繕・安全管理など、一定の整備水準を維持するための維持管理が必要です。



部分改修

- 視覚障害者誘導用ブロックや白線の改修、溜まり空間の平坦性の確保、横断勾配の改良など既存道路の部分改修が必要です。



改良検討

- 市民や民間事業者とともに整備のあり方について協議を行いながら、長期的に、計画的に改良を行うことが必要です。



心のバリアフリー

- バリアフリー化の重要性や高齢者・障害者等に対する理解を深め、行動につなげる「心のバリアフリー」を進めることが必要です。

